

## 小中一貫を見通した「言葉で伝え合う力を高める」指導のあり方

### ～発達段階に応じた指導や支援を大切にしたい授業づくり～

本校で取り組みを進めていく今年度の研究主題です。詳しくは、1号・2号の研究通信でお伝えしております。お読みいただけましたでしょうか。

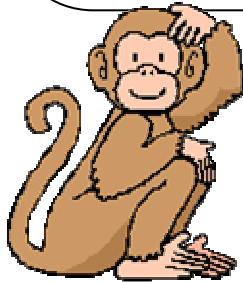
### 伝え合うに関わっての評価規準

長郷小学校では、伝え合う力を確かに育てていくために、子ども達のめざす姿を定め、更に、子ども達の実態に合わせて到達させるべき具体的な目標としての評価規準を設定しています。評価規準は、子どもにつけたい力を明確にし、具体的な子どもの姿として示したものです。

今年度は、昨年度作成したものを見直し、話す・聞く・話し合うごとに内容を精選しました。(話す8項目、聞く7項目、話し合う7項目)

子ども達はそれぞれに、平素の自分をしっかり見つめてアンケート（意識調査）に答えました。項目に沿って自己評価する中で、自分自身の課題も見えてきたことでしょう。

このアンケート表は時々持ち帰らせますので、ご家庭でも話し合ってみてください。



### ★ 評価規準に関わって、子ども達の意識調査

を5月に行ないました。

こうした意識調査は、子ども達の力を断定したり他と比べたりするものではありません。あくまでも、個々それぞれの力をより高めていくための1つのデータとなるものです。

この意識調査は数ヶ月ごとに実施し、子ども達の意識の変容をみていきます。子ども達それぞれが自分の課題を意識し、ステップアップをめざしていけるよう取り組みを進めます。

### 聞いたことの足跡を残すため、「聞く」ノートを始めました。

全校朝会などで、聞いた内容に関わってまとめていくノートです。個人にかえるノートのため、各ご家庭より、ノート代金として百円を2学期の学級諸費より集めさせていただきます。

「聞く」ことが確かにできるようになると、様々なことが上達してきます。子ども達に確かな力をつけていくために、聞くことを大事にした取り組みを進めていきます。

聞くことは、相手の考えを受け止め、伝え合う力を高めていくための基本となります。同時に、平素の学習を確かなものにしていくための大切な力ともなります。学習の内容や方法を確かにつかんだり、他者のものの見方や考え方から自分の考えを深めたり広げたりするなど、学習の効果にも大きく関わってきます。また、音声での言葉『聞く』は、その場で消えてなくなり、聞いたはずなのに後に何も残っていないという場合もありますね。しっかり聞くためには、集中力や、時にメモを取りながら聞く力も必要です。

ご家庭や地域の皆様、力を合わせ、子ども達に確かな聞く力を育てていきましょう。